

平成24年12月17日

## 総選挙の結果について

社団法人 日本建設業連合会  
会長 野村哲也

今回の総選挙は、国民の多くが安定感と実行力を期待した結果であると感じている。

新しい政権には、まずは一刻も早く、デフレ体質からの脱却と国内産業の空洞化阻止に向けた、内需主導型の経済運営を強力に推進していただくとともに、わが国が安定的な経済成長を続けられるよう、将来を見据えた政策の実施を期待している。

そして、安全・安心の確保、国際競争力の強化、国内投資促進等の観点により、東日本大震災からの復旧・復興を急ぐとともに、大都市の機能強化、全国的な防災・減災対策、さらにはインフラの維持管理・更新など、真に必要な社会資本整備を、選択と集中のもとに着実に推進していただきたい。

日建連としても、こうした課題の克服に寄与するべく、引き続き、提言・要望活動を行っていくとともに、具体のプロジェクトが実施される段階においては、会員各社が持ちうる技術・ノウハウで、しっかりと貢献していく所存である。